

平成29年度 市毛小学校 経営グランドデザイン

児童や教師にとって学び甲斐のある学校

道徳教育を基盤に「道徳性(心)」と「学力(体力)」を伸ばす！

経営方針

《知のプロジェクト》

- 基礎基本の確実な定着
- 学習規律の確保(授業を支える)
- 教材研究(授業をつくる) 発問、指示
- 学習活動研究(学び合い)
- 問題解決能力の育成
- 開いた質問、アクティブラーニング(主体的・協動的に学ぶ学習)
- ※教務主任、研究副主任の役割

《徳のプロジェクト》

- 共に暮らすための「行儀と規範」
- 温かな支持的風土に満ちた学級
- 人を優しく見られる人間に
- 道徳の時間に補充・深化・統合
- 継続する態度を養う
- 係・委員会活動、黙働清掃
- ※研究主任、道徳主任、特別活動主任、生徒指導主事の役割

《資のプロジェクト》

- 服務規律の確保(学校コンプライアンス推進委員会)
- 指導力の向上(学級経営、学び合い、道徳の授業)
- 研修(特別支援、児童理解、危機管理RPDCA等)
- ※教頭、教務主任の役割

《体のプロジェクト》

- 体力の向上
- 授業における運動量の確保
- 外遊びの奨励
- 自己管理能力の育成
- 早寝・早起き・朝ご飯運動、食育
- ※体育主任、養護教諭、栄養教諭の役割

《協のプロジェクト》

- 保護者や地域社会との連携
- 交通安全、二中学区連携、早戸城祭り
- おやじの会、GT招聘による授業
- 魅力ある開かれた学校づくり
- 学校関係者評価委員会、他
- ※教頭、教務主任の役割

《安のプロジェクト》

- 自分の身は自分で守る
- 交通安全：歩行・横断
- 火災
- 生活安全：安全点検
- 災害安全：避難訓練
- ※教頭、保健主事の役割

アクションプラン

《学級経営の充実》

- ・ル-ジョンづくり
- ・鶏飼い型(X)
- ・ルルづくり
- ・集団の成長
- ・言葉を正す教育
- ・教育相談(個)
- ・保護者と連携
- ・SC等と連携
- ※生徒指導主事や特別支援COに[報・連・相・確]

《学習指導の充実》

- ・教材とじっくり関わる活動を
- ・小グループでの協動的な活動を
- ・学びの途中経過や成果を表現
- ※聴く態度を養える
- ※分からないことを言える雰囲気づくり
- ※生徒指導3機能を生かした授業づくり
- 授業スタイルブック

《道徳の時間の充実》

- ・35時間/年
- ・[第○回道徳]の表示
- ・[私たちの道徳]活用
- ・学習指導案作成研修
- ※道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成(目標)
- ※指導の工夫
- 資料提示、発問、話し合い、書く活動、表現活動、説話
- 板書を生かす

《特別活動の充実》

- ・感動体験の創造(学校行事、日々の教育活動、生命の実感)
- ・係・委員会活動(役割と責任の自覚)
- ・学級活動(規則尊重、正義、個性伸長)
- ・福祉活動、人権尊重
- ※全ての教育活動のねらいに道徳的内容項目を明記

《郷土愛・愛校心等》

- ・感謝の集い(自治会子ども会・PTA)
- ・GT招聘(感謝)
- ・早戸城祭り(PTA主催、教員協力)
- ・幼小中連携(生活科、社会科見学、陸上指導、学びのサポート等)
- ・図書ボランティア、読み聞かせ
- ・釜小学校姉妹校交流

《市毛小学校の合い言葉》

- いっしょけんめい
- 「自立する児童の育成」
- ・夢や目標に向かって一生懸命努力する児童の育成
- ちからをあわせる
- 「確かな学力と体力の育成」
- ・学校改善プランによる実践と評価
- げんきな市毛っ子
- 「豊かな心の育成と安全教育」
- ・元気な挨拶が自分からできる児童の育成
- ・安全な生活を考え実践できる児童の育成

課題

《自分自身に関する》

- ・言行不一致(言葉は心と一体不離)行動は判断によって選ばれ、判断は価値観によって決まる。
- ・節度、節制に心がけたい。
- ・短所を改め、長所を伸ばしたい。

《人との関わりに関する》

- ・時と場をわきまえ、礼儀正しくありたい。
- ・思いやりの心をもち、親切にしたい。
- ・《生命や自然、崇高なものとの関わりに関する》
- ・自他の生命を大切にしたい。

《集団や社会との関わりに関する》

- ・公徳心をもってきまりを守り、義務を果たすようにしたい。
- ・誰に対しても公正・公平にし、正義感をもちたい。
- ・役割を自覚し、主体的に責任を果たすようにしたい。

学校や児童の様子等を観察すると、次のことが感じられる。

- 1 子どもは学校へ行くと言うよりも、学級へ行っている。《学級経営の重要性》
- 2 学校にいる時間の約4分の3は授業。そこにこそ居場所を。《知的好奇心、分かる授業》
- 3 今までの自分を振り返り、心の内面をみる。《要としての「道徳の時間」》
- 4 これからの自分をつくる。生活力を、夢や希望を。《実践としての「特別活動」》
- 5 子どもを育む思いが校歌に込められている。《郷土愛・愛校心・家庭愛》

《教育目標》

ふるさとを愛し、夢や希望に向かって進む、心豊かでたくましい児童の育成
—児童の主体的な学びを引き出す教育活動の実践を通して—

《スクールマニフェスト》

- 知：①県学力診断テストで県平均を上回り、かつ前年度比+1以上
- ②子どもの興味・関心を高める授業実践(保護者評価：80%)
- ③読書50冊以上/年：80%以上
- 徳：①Q-Uテストで学級生活満足群：60%以上
- ②学校が楽しいと思う児童評価：90%以上
- ③不登校児童：なし
- 体：①体力テストA+B：62%以上
- ②体力テストD+E：10%以下
- ③早寝・早起き・朝ご飯：80%
- 協：①学習参観率：90%以上
- ②学校便り発行：30号/年
- ③学校HP更新：2回/週
- ④地域人材活用：のべ80人/年
- 資：①授業公開1人1回/年(道徳、教科)
- ②教員評価の自己評価A：80%
- ③校外授業参観：1回/年(全教諭)

《めざす児童像》

- 自ら考え、工夫する子
- 思いやりのある子
- 元気でたくましい子

《めざす学校像》

- 信頼される学校
- 創意と活力に満ちた学校

《めざす教師像》

- 情熱のある教師
- 確かな力量のある教師
- 人間力のある教師